

芸能公演 & ミニレクチャー

バリ島の音楽と 歌芝居にふれよう

出演者

●チアアット (Ciaaattt)●

本名イ・マデ・アグス・ワルダナ (I Made Agus Wardana)。1971年、インドネシア・バリ州都デンパサールの芸能家の家庭に生まれる。インドネシア芸術大学 (STSI) デンパサール校を卒業後、在ベルギー・インドネシア大使館の現地スタッフとして22年間勤務し、バリ芸能の紹介や指導にあたった。現在はバリ島に戻り、地元のコミュニティにおいて芸能活動を指導するほか、YouTube等での音楽コンテンツの発信、音楽イベントへの出演や教育機関等でのワークショップ開催を続けている。伝統音楽からポップスまで活動の幅は広く、国内外の多様なジャンルの芸能家とのコラボレーションも多い。

●マメタンガン●

竹笛と打楽器による小編成の音楽ガムラン・ググンタンガンと歌芝居ジャンゲルを上演する日本人のグループ。
バリの伝統芸能をベースに創作を交えながら、声と踊りとガムランによるユニークな上演活動を行っている。
(歌と踊りと芝居) 小原妙子 / 塩谷智砂 / 松重貢一郎 / 安田冴 (演奏) 石井留美 / 石塚千東 / 伊藤祐里子 / 小原昊 / 城島茂樹 / 新留美哉子 / 根岸久美子 / 増野亜子 / 安谷絵里 / 吉田ゆか子 / 若林康明

●東京外国語大学インドネシア舞踊部●

バリ島をはじめ、ジャワ、スラウェシなど、インドネシア各地の舞踊を学び上演。
舞踊を通じてインドネシアの多様性を体験し伝えている。
(踊り) 森田桜雅 / マリカ・グナワン

●吉田ゆか子●

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所准教授。専門は、文化人類学、バリ芸能研究。
2020年より、COVID-19が世界の芸能にもたらした影響についての共同研究を主宰している。



以下の体験ワークショップも開催されます。奮ってご参加ください。

関連ワークショップ① 〈人類学カフェ〉バリ島のケチャと声ガムランを体験しよう！

11月25日(土) 10:30～12:00

場所：東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 (AA研) 2階 コモンズ・カフェ

関連ワークショップ② 〈人類学カフェ〉バリ島のケチャを体験しよう！

12月1日(金) 17:45～19:15

場所：東京外国語大学附属図書館 4階 TUFs-ラーニングコモンズ (@ラボ)

対象：どなたでも。小学生以下は保護者の方が一緒にご参加ください。

参加費：無料

講師：チアアット (Ciaaattt)、司会・通訳：吉田ゆか子

詳細・お申し込みはこちらから →

https://anthropology.aa-ken.jp/activity/event/bali_ws2023.html



※関連のミニ展示を附属図書館で開催中 (期間 11/13～12/8)



科研費
KAKENHI

150th
anniversary
TUFs

〒183-8534

東京都府中市朝日町3-11-1

◆JR中央線「武蔵境」駅のりかえ 西武多摩川線「多磨」駅下車 徒歩5分 (JR新宿駅から約40分)

◆京王電鉄「飛田給」駅北口より多磨駅行き京王バスにて約10分「東京外国語大学前」下車

ILCAA
Research Institute for
Languages and Cultures of
Asia and Africa

TUFsCo
TUFs Center of
Studies

